

FSCC プロジェクト四半期報告(2023年6月) ～KPIのレンディングは通年目標を超過、IRセミナーにも注力～

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform(本社:大阪府岸和田市、代表取締役:城丸修一、以下、「FDAP」)は、2023年6月末時点での状況につきまして、四半期報告として以下の通り開示いたします。

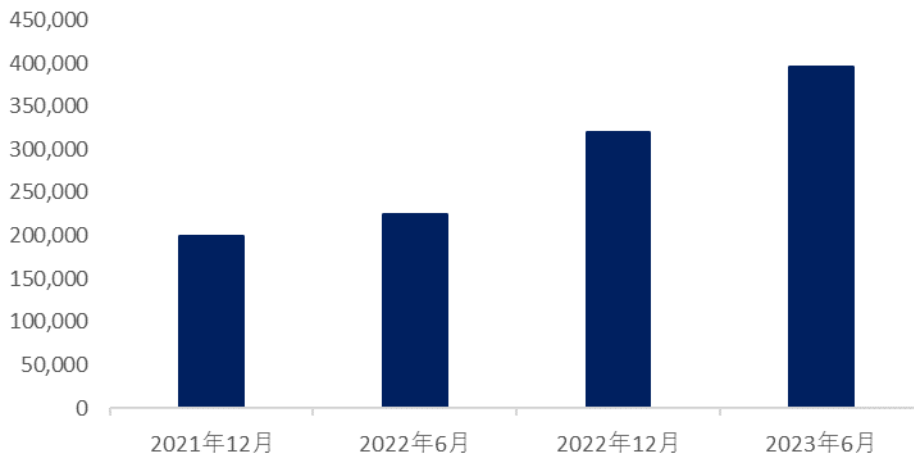
■レンディング

FSCC 保有者は、FSCC レンディングアプリケーションのスマートコントラクトアドレスに FSCC を送付し、当該 FSCC をスマートコントラクト上にロックすることで、FSCC の取引によるキャピタルゲイン以外の収益化が可能となります。

FDAP では各種アプリケーション(Dapps 事業)を通じて、需給逼迫(①保有者の増加、②FSCC の TVL: Total Value Locked=ロック(※)されている FSCC の増加)施策を推進しています。具体的には [FSCC レンディング](#) を FSCC 保有者が利用することで、投資家および上場企業へ提供した各種アプリケーションにおける収入が還元される仕組み等が、それに該当します。

したがって、FDAP では FSCC レンディングの枚数を、需給逼迫施策の KPI の 1 つとして重視しております。2021 年に策定した目標では、2021 年末に 85,446FSCC、2022 年末に 180,000FSCC、2023 年末に 300,000FSCC、2024 年末に 420,000FSCC、2025 年末に 540,000 枚を掲げており、2023 年 6 月現在で 395,021FSCC を達成しています。

FSCC レンディング枚数 (単位: 枚)



News Release

■今後の注目すべき施策(IRセミナー)

FDAP では各種アプリケーション(Dapps 事業)を通じて、投資家および上場企業からの売上高を獲得しています。バーチャル株主総会システムにおいては、ウェビナーシステムが実装されており、ウェビナーシステムが企業の IR 説明会に使用されるニーズが増えてきています。

株式会社フィスコと共同で実施した7月20日のIRセミナーでは、上場企業1社を招致し、視聴参加申し込み300名超となりました。今後についても小規模～大規模IRセミナーにセミナー形態を細分化し、上場企業の細かいニーズを取り込んでいく方針です。

今後においてはIRセミナーの実施企業数も見ていただくべき指標となり得ることから、今後の四半期報告の開示事項として設定いたします。

News Release

【株式会社 FISCO Decentralized Application Platform の概要】

所在地:大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号

設立日:2017 年 9 月 12 日

資本金:95 百万円(2023 年 6 月 30 日現在)

代表者:代表取締役 城丸 修一

事業内容:暗号資産を含む運用、アプリケーションの開発・運用等